

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	知事直轄 危機管理課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	防災対策強化プログラム		
施策名	【重点】自らの命は自らが守る取組の促進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	ハザードマップの確認を行っている県民の割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	31.9	34.6	37.3	40.0
現況値	29.2% (2017~2020年度の平均)	実績値	38.0			
目標値	40.0%	達成率	119.1%			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

- ・防災訓練事業
- ・住宅・建築物耐震診断等事業
- ・木造住宅耐震改修事業
- ・高校生「地域防災ボランティアリーダー」養成研修

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

地震による人的被害及び経済的被害の軽減を目的とし、住宅・建築物の耐震化を促進するため、耐震改修に係る補助や事業者に対する普及啓発活動等を実施した。また、災害対応力の向上と県民の防災意識の向上を図るため、県・関係防災機関等による防災訓練や、災害発生時に高校生が救援活動等を行うための実践力を身につけるための演習等を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、限定的な実施となった。

6 今後の施策推進に向けての課題

引き続き、効果的な防災教育や普及啓発を実施し、「自らの命は自らが守る」意識を醸成するとともに、地震による被害を軽減するために、住宅、建築物耐震診断を促進するとともに耐震化の必要性のさらなる啓発、感染症拡大防止に配慮した地域住民の訓練への参加のあり方等の検討を行い、地域防災力の強化を行っていく必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名	担当部課室 知事直轄 危機管理課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	防災対策強化プログラム
施策名	【重点】互いに助け合う地域の防災力の充実強化

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	自主防災組織率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	88.7	90.2	91.7	93.0
現況値	87.2% (2020年度)	実績値	87.9			
目標値	93.0%	達成率	99.1%			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

- ・防災まちづくり総合支援事業
- ・自主防災組織リーダー研修事業
- ・岡山DWA T(災害派遣福祉チーム)体制構築事業
- ・災害ボランティア活動促進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の中核・リーダーとなる防災士の養成は着実に進んでいる。 ・自主防災組織とリーダーの役割や活動の先進事例等について学び、今後の活動に活かせるよう、基礎的な研修会を実施した。 ・県災害派遣福祉チームの派遣体制の充実強化が図られるよう、保険料の負担、研修・訓練の実施、平時の活動の支援や資器材の整備、迅速なチーム員の派遣のための連絡・調整システムの構築を行った。 ・災害ボランティアセンターで受付と活動の割り振りの調整等を担うコーディネーターを養成する研修や、大学生を対象とした災害ボランティア研修会を実施するとともに、関係機関と連携した災害対応研修を実施した。
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の結成、活動活性化など、地域の防災力強化に対する市町村の取組への総合的な支援が必要 ・自主防災組織の活動活性化を促進するため、地域の防災活動の中核を担う防災リーダーの養成が必要 ・DWA Tの活動内容のさらなる周知や、関連機関との連携体制の構築により、災害時の支援活動が円滑に行われるよう体制強化が必要 ・コロナ禍では、域外からの災害ボランティアを受け入れにくいことから、引き続き、各地域内での人材育成と多様な主体による連携体制の強化が必要
--

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	知事直轄 危機管理課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	防災対策強化プログラム		
施策名	【重点】県民の命を守る災害対応力の充実強化		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	県内外の被災地に派遣できる「チームおかやま」の数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2	4	6	8
現況値	8チーム(2019年度)	実績値	4			
目標値	16チーム	達成率	200%			
備考	2021年度:12チーム(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	5			

3 関連する事業名

- ・地域防災・危機管理力アップ事業
- ・支援物資物流体制強化推進事業
- ・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた地域防災力の強化
- ・消防力強化推進事業

4 施策達成レベル

5.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

感染予防対策を踏まえた避難所対応研修や、住家被害認定調査研修等の実施により、災害対応に必要な知識や技術を習得した人材を育成し、災害対応力の向上を図った。さらに、被災地に必要な支援物資を確実に届けるために、物資オペレーション訓練を実施し、関係機関相互の連携強化を図った。
また、地元プロスポーツクラブと連携した消防団PRイベントや団員募集動画の作成など、多様なターゲット層に対し、地域防災の要である消防団の活動内容への理解と興味促進を図るPR活動を積極的に展開し、新たな女性・若手消防団員の確保を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

災害対応力向上のため、引き続き、さまざまな研修、訓練を実施し、大規模災害に対応できる職員を養成するとともに、支援物資物流体制の強化に向けて民間のノウハウや能力を効果的に活用したオペレーション訓練の実施等により、支援物資を確実に届けるための体制構築を図っていく必要がある。
また、女性及び学生の消防団員は増加傾向にあるが、消防団全体で見ると減少傾向が続いていることから、今後、さらなる取組が必要である。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	知事直轄 危機管理課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	防災対策強化プログラム		
施策名	【重点】迅速な避難等につながる防災情報基盤の強化及び災害時の体制強化		

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	説明	年度	2021	2022	2023	2024
			目標値	26.8	29.0	31.2
現況値	24.6% (2017~2020年度の平均)	実績値	30.5			
目標値	33.4%	達成率	113.8%			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

- ・ 防災・危機管理センター等強靱化事業
- ・ 岡山県高度防災ネットワーク整備事業
- ・ 災害時医療従事者養成・確保事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

防災・危機管理センター等へ電力を供給する電源の二重化工事に着手するとともに、防災情報ネットワークを構成する防災行政無線や関連システムの更新のあり方を取りまとめるなど防災情報基盤の充実強化を図った。 また、災害派遣医療チーム(DMAT)の養成研修を実施し、災害時の救急医療活動を行うことができる医療従事者の確保等を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

令和10(2028)年度の運用開始をめざし、現在、岡山県高度防災情報ネットワーク整備事業を推進しているが、それまでの間は現有設備を適切に保守し、機能維持を図る必要がある。 また、災害時の救急医療活動を行うことができる医療従事者の確保等を図るため、引き続き、災害派遣医療チーム(DMAT)等の養成研修を実施するなど災害医療提供体制の強化を図る必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	土木部 防災砂防課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	防災対策強化プログラム		
施策名	【重点】防災施設整備や公共施設等の耐震化の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	特に重要な緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	81.0	83.0	86.0	93.0
現況値	76.6% (2019年度)	実績値	79.6			
目標値	93.0%	達成率	98.3%			
備考		達成度	3			

指標名	河道内整備の実施延長	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	55	75	90	100
現況値	—	実績値	53			
目標値	100km	達成率	96.4%			
備考		達成度	3			

指標名	護岸等の整備により高潮被害が解消される防護面積	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	131	141	141	421
現況値	1,829ha (2019年度)	実績値	111			
目標値	2,250ha	達成率	84.7%			
備考	2021年度：1,940ha (達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	3			

指標名	護岸等の整備により高潮被害が解消される戸数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	824	1,024	1,024	2,224
現況値	19,776戸 (2019年度)	実績値	372			
目標値	22,000戸	達成率	45.1%			
備考	2021年度：20,148戸 (達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	1			

3 関連する事業名

- ・河道内整備事業
- ・河川改修事業 (河川激甚災害対策特別緊急事業等)
- ・高潮対策事業
- ・砂防関係事業
- ・治山事業
- ・道路防災事業
- ・ため池防災・減災対策推進事業
- ・道路橋梁の耐震化対策
- ・医療施設等耐震整備事業
- ・緊急輸送道路沿道建築物等耐震化支援事業
- ・要緊急安全確認大規模建築物耐震化支援事業

4 施策達成レベル

2.7	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

関係者との調整等により一部の事業を翌年度に実施するなどしたが、緊急輸送道路上の橋梁の耐震化、河道内整備及び護岸等の整備を着実に推進した。

6 今後の施策推進に向けての課題

県民が安心して暮らすことのできる災害に強い地域づくりのために、防災施設整備や公共施設等の耐震化に関連する事業を計画的に実施する必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	知事直轄 消防保安課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	防災対策強化プログラム		
施策名	【推進】コンビナート防災対策の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	コンビナート総合防災訓練参加機関数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	13	13	13	13
現況値	13機関(2019年度)	実績値	-			
目標値	13機関	達成率	※-%			
備考	新型コロナウイルス感染症の影響により訓練を中止したため、評価対象外とする。	達成度	※-			

3 関連する事業名

- ・コンビナート防災事務費

4 施策達成レベル

-	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
---	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

防災訓練については、11月頃から関係機関と協議を開始し、2月に訓練を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止対策に係るまん延防止等重点措置(1月27日から3月6日まで)となったことにより、2021年度は開催を中止したため、主な成果は得られなかった。

6 今後の施策推進に向けての課題

今後は、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染拡大防止に配慮した上で、コンビナート防災のための練度を上げることができるよう訓練の手法を検討する必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名

担当部課室 土木部 技術管理課

重点戦略	III 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	防災対策強化プログラム
施策名	【推進】土木施設の長寿命化対策の推進

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	主な土木施設の長寿命化	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	113	168	208	209
現況値	96施設(2019年度)	実績値	110			
目標値	305施設	達成率	97.3%			
備考	2021年度:206施設(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	3			

3 関連する事業名

- ・土木施設等の長寿命化対策

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

計画に基づき各施設の長寿命化対策を実施し、110施設の長寿命化が図られた。

6 今後の施策推進に向けての課題

土木施設が将来にわたって機能を十分に発揮できるよう、各施設の長寿命化対策を引き続き計画的に推進する。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	知事直轄 危機管理課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	防災対策強化プログラム		
施策名	【推進】災害対処能力の向上		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	関係機関や住民が参加した防災訓練の回数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	3	3	3	3
現況値	3回/年(2019年度)	実績値	2			
目標値	3回/年	達成率	66.7%			
備考	新型コロナの緊急事態措置区域となったため、総合防災訓練を中止	達成度	2			

3 関連する事業名

- ・防災訓練事業

4 施策達成レベル

2.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

総合防災訓練については、新型コロナウイルス感染症の緊急事態措置区域となったため中止したが、水害対応訓練や地震対応訓練については、参加者を限定し実施した。感染拡大防止のため、地域住民の訓練への参加を控えたため、県民の防災意識の醸成の面では期待する成果は得られなかったが、訓練に参加した防災関係機関相互の連携確認は十分に行うことができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

今後は、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染拡大防止に配慮した地域住民の訓練への参加のあり方等の検討をするとともに、南海トラフ地震などの大規模災害に備えて、より実践的な訓練を重ね、地域全体の災害対処力を強化する必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	環境文化部 循環型社会推進課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	防災対策強化プログラム		
施策名	【推進】災害廃棄物処理体制の強化		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	災害廃棄物処理計画策定市町村数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	8	10	12	13
現況値	14市町村 (2019年度)	実績値	8			
目標値	27市町村	達成率	100%			
備考	2021年度: 22市町村 (達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	4			

3 関連する事業名

- ・ 災害廃棄物処理体制強靱化事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を 平均して施策達成レベルを算出
-----	--

5 施策推進による主な成果

災害廃棄物仮置場設置訓練や図上訓練を実施するとともに、協定締結団体の対応力強化に係る支援を行い、県内災害廃棄物処理体制の強化を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

引き続き、市町村等の災害廃棄物処理体制が強化されるよう、訓練等の実施や市町村廃棄物処理計画策定に対する助言等を行う必要がある。

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 経営支援課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	防災対策強化プログラム		
施策名	【推進】中小企業の事業継続力の強化		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	県内中小企業のBCP(事業継続計画)策定率:製造業	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	17.0	18.0	19.0	20.0
現況値	16.4%(2020年度)	実績値	20.7			
目標値	20.0%	達成率	121.8%			
備考		達成度	5			

指標名	県内中小企業のBCP(事業継続計画)策定率:小売・卸売業	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	9.0	10.0	11.0	12.0
現況値	7.8%(2020年度)	実績値	8.8			
目標値	12.0%	達成率	97.8%			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

- ・中小企業BCP推進事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>感染症BCPも含めたセミナーを開催するとともに、専門家派遣による策定支援を実施した。また、BCPの優良な取組に対しては、認証制度を2021年度から実施することで策定意欲を高めている。 製造業については、目標値に達したが、小売・卸売業については、目標値に至っていない。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>引き続き、セミナーや専門家派遣により、中小企業のBCP策定率向上を図るとともに、昨年度作成した簡易版BCPモデル(3リスク(地震・風水害・新型コロナウイルス)、7業種(製造業、建設業、卸小売業、宿泊業、飲食業、運輸業、その他)対応)の普及により、更なる策定率向上を図る。</p>
--

2022年度 施策評価シート(2021年度実績)

1 評価施策名

担当部課室 土木部 道路整備課

重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	防災対策強化プログラム
施策名	【推進】無電柱化の推進

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	無電柱化着手済道路延長	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1.7	2.7	2.7	2.7
現況値	0.8km (2019年度)	実績値	1.8			
目標値	3.5km	達成率	105.9%			
備考	2021年度: 2.6km (達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	4			

3 関連する事業名

・電線共同溝

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

岡山県無電柱化推進計画路線である新見市内の国道180号、倉敷市内の国道429号において予備設計を発注し事業に着手した。2024年度末の事業着手目標延長の達成に向け、事業の推進を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

計画路線ごとの技術的課題を抽出し、事業化に向けて電線管理者と調整を諮り同意を得ることが課題である。